

第64期 報告書

2024年3月1日▶2025年2月28日





収益の柱であるGMS事業の強化に加え、 「新規SM事業を創造」することで 収益力を高めます。

代表取締役社長
町田 繁樹



株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

このたび、山西泰明の後任として、株式会社イズミの代表取締役社長に就任いたしました。4月1日より社長の重責を担い、当社グループのさらなる成長と発展を実現させていく所存でございます。

当期における我が国経済は、景気は緩やかに回復してきたものの、原材料費やエネルギー価格の上昇、インフレ長期化の影響により、消費者の生活防衛意識はより一層高まり、小売業界における経営環境は依然として見通しにくい状況が続いています。

当社グループは、2023年4月にアップデートした第二次中期経営計画に基づき、既存店活性化投資とM&A・アライアンスによる事業領域の拡大により、長期ビジョン実現を目指しております。これらに迅速に対応するため、5月にM&Aや新規事業を管轄する「投資推進事業部」を設置するとともに、外部専門人材を登用し組織体制強化を図るなどして、推進力を高めました。

5月に(株)サンライフを完全子会社化、6月には(株)マルヨシセンターとの資本業務提携契約に基づき、四国における仕入や物流、システム統合を実施しました。8月には、連結子会社の(株)ゆめmart熊本が、(株)西友から九州の食品スーパー事業を承継することで、九州地区でのドミナンスを強化し、スケールメ

リットを生かした仕入や販促・物流の効率化を図っていきます。

店舗面では、4月に「ゆめmart新大村」、5月に「ゆめモール合志」、9月に「ゆめモール五日市」を新規出店しました。また、既存店大規模活性化として、3月に「ゆめタウン平島」に「サンドラッグ」、4月に「ゆめタウン学園店」に「無印良品」などの有力テナントを導入し、集客力向上を図りました。さらに、10月に「ゆめタウン高松」、11月に「ゆめタウン博多」において、「食」や「ビューティ・ドラッグ」の売場強化などを実施し、店舗付加価値を高めました。

商品調達面では、昨年2月に加盟したニチリウグループとの取り組みを進めています。直営ライフスタイル部門では、価格競争力のある付加価値商品などを導入しており、来期以降も拡大する計画です。一方で、9月には、同グループのプライベートブランドである「くらしモア」を(株)ゆめmart熊本に導入し、インフレの長期化により高まる低価格ニーズへの対応力を高めてまいります。

当社グループでは、収益の柱であるGMS事業の一層の強化と、収益力の高い「新規SM事業を創造」することで、全体の収益性を高めます。これらにより、お客さまの満足を実現するとともに、地域ドミナントの更なる拡大・深耕を図り、経営効率を高め、より一層の企業成長に繋げてまいります。

株主の皆さまにおかれましては、引き続きご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

進化し、深化する「youme」を。
地域になくてはならない存在。私たちは「地域一番店」を目指します。

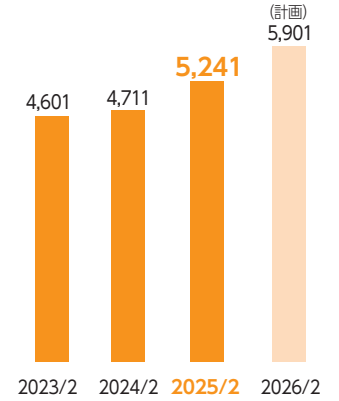


連結財務ハイライト

営業収益

	前年同期比
5,241 億円	111.2%

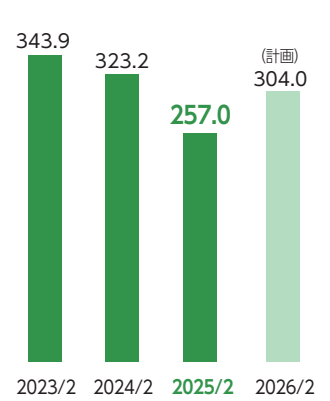
(単位：億円)



経常利益

	前年同期比
257.0 億円	79.5%

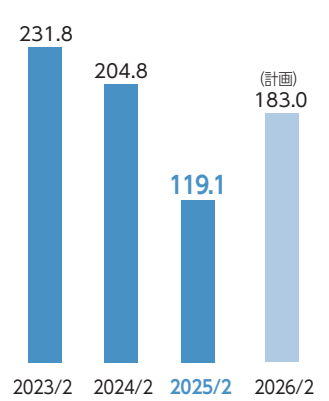
(単位：億円)



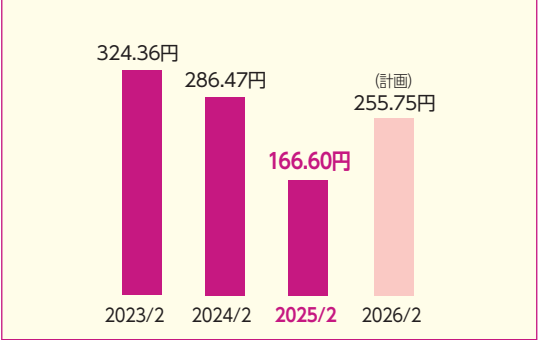
親会社株主に帰属する当期純利益

	前年同期比
119.1 億円	58.2%

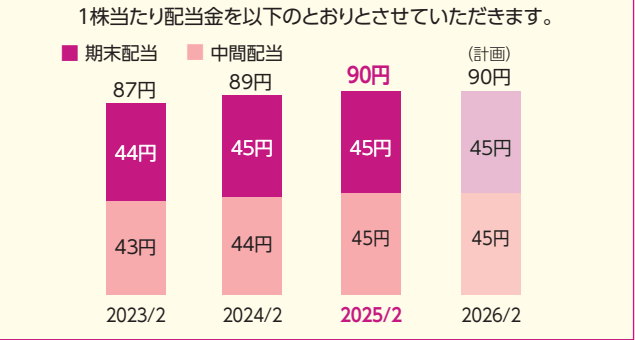
(単位：億円)



1株当たり当期純利益



1株当たり配当金



地域の声やお客さまのご要望に合わせて、 店舗リニューアルと地域貢献活動を行っています。

ここでは各地の店舗情報や地域貢献の最新トピックスをご紹介します。



ゆめタウン高松

香川県高松市

2024年10月25日
リニューアルオープン!

「食」と「美」を大幅に強化

2024年10月25日、香川県高松市の「ゆめタウン高松」が、「食」と「美」をテーマにリニューアルオープンしました。「食ゾーン」は地域一番の売場に進化して集客力・売上高も向上しました。また「ビューティゾーン」では、直営の化粧品・ドラッグと人気専門店を1カ所に集約して話題を呼んでいます。



香川県産のオリーブはまちも大人気



化粧品が試せる人気の専門店「センコヤ」

ゆめタウン武雄

佐賀県武雄市

2024年10月25日
リニューアルオープン!

「がばい」地元食材を強化

オープン26年目を迎えた佐賀県武雄市の「ゆめタウン武雄」が、2024年10月25日、リニューアルオープンしました。お客さまの声を取り入れて地元食材を大幅に強化したほか、Z世代や子育て世代にも対応を図り、無印良品や「食のセレクトショップ」を導入しました。



子育て世代にも大人気の3COINS+plus



みつせ鶏や伊万里牛など地元ブランド肉も充実

ゆめタウン博多

福岡市東区

2024年11月21日
食品館リニューアルオープン!

地域一番の「食」ゾーン誕生

福岡県福岡市の「ゆめタウン博多」内に、2024年10月24日、地元の銘品を集めた「博多うまか街道」が誕生。さらに、11月21日には、食品館がリニューアルオープンしました。新たな食の魅力を提案する地域一番の「食」ゾーンとして、連日多くの人で賑わっています。



博多を代表する銘品が集結。お土産にも最適



惣菜は店舗内キッチンでできたてを提供

広島新駅ビル「ミナモア」に当社初のバラエティコスメショップ単独店誕生! 「En Fleur Petit (ア・フルール プティ) minamoa広島店」 2025年3月24日グランドオープン!

2025年3月24日、広島新駅ビル「ミナモア」4Fに、イズミ初のバラエティコスメショップ単独店となる「ア・フルール プティ (En Fleur Petit) minamoa広島店」がオープンしました。イズミにとって、自社以外の商業施設に出店するのは初めての挑戦です。キーワードは「発見×ギフト×冒険」。「日常のささやかなご褒美」をコンセプトに、トキメク商品との出会いを楽しんでいただける特別な空間を演出しています。

En Fleur Petit
COSME SHOP

イズミ初導入の海外コスメがずらり

イタリアの「ダヴィネス」やオーストラリアの「ジュリーク」、ニューヨークの「ジョンマスターオーガニック」など、高感度な女性に人気のブランドを厳選。肌を美しくみせる女優ライトを備えたカウンターも設置し、新たなコスメ体験を広げていきます。



地域連携トピックス

▶ 修道大学と連携して新商品を開発

広島修道大学商学部と惣菜パイヤーが共同で「おにぎらず」など惣菜4品を開発。2024年11月1日、LECTで先行販売を行い、学生の皆さんが店頭でアピールしました。さらに、2024年11月2日～10日に16店舗で一般販売を実施し、若い感性からうまれた惣菜が各店舗でもご好評をいただきました。



店頭で試食を勧める広島修道大学の学生さんたち

▶ 更生保護支援活動で、感謝状を授与

2024年11月14日、島根県雲南市で「更生保護制度^(※)」施行75周年を記念した島根県更生保護大会が開催されました。「ゆめタウン出雲」は同制度の周知活動などに貢献したことから、会場で県知事より感謝状を贈呈されました。

(※) 非行少年などの社会復帰を支える制度



丸山県知事(左)から表彰状を受け取るゆめタウン出雲 中川支配人
※11月14日時点の役職

イズミが取り組むサステナビリティ — お客さま、地域、テナントさま、社員とともに —

 食品ロス削減に向けた産官学連携の取り組みや、プラスチックによる環境負荷の低減を推進しています。

令和6年度広島市食品ロス削減推進表彰を受賞

2024年10月21日、食品ロス削減へ効果的な取り組みを実践している企業として、広島市から表彰されました。特に評価されたのは、各店舗で実施している食品ロス削減プログラム「もぐもぐチャレンジ」や「フードドライブ」。無理なく楽しく参加できる実践の場を提供してきた成果が認められました。



沼本本部長（前列左から2番目※10月21日時点の役職）と広島市の松井市長（前列左から3番目）

「フードロス削減ポスター」のデザイン募集と巡回展を実施

10月の食品ロス削減月間にあわせ、4回目となる「フードロス削減ポスター」のデザイン募集を行いました。多くの方にご応募いただき、最優秀賞に選ばれた作品は2025年度の当社の啓発ポスターとして各店に掲示しています。また、ご応募いただいた作品の巡回展を実施し、広くお客さまにもご覧いただきました。



フードロス削減ポスター最優秀賞
土岐 沙奈さんの作品



巡回展（ゆめタウン下松）

衣料品・暮らしの品売場で提供するレジ袋をプラスチック製袋から紙製袋へ切り替え

2030年までにプラスチック製レジ袋の使用量を80%削減（2018年度比）することを目指す当社は、ゆめタウン・ゆめマートなど約60店舗の衣料品・暮らしの品売場（一部の売場を除く）において2024年10月1日よりプラスチック製レジ袋の提供を終了し、紙製レジ袋へ切り替えました。お客さまにマイバッグ持参等のご協力をいただきながら、レジ袋をプラスチック製袋から紙製袋へ切り替えることで、年間約96万枚（2024年度）のプラスチック製レジ袋を削減できました。



環境教育の一環として出前授業を実施

2024年10月29日、株式会社エフピコと協働し、福岡県の行橋市立行橋南小学校にて4、5年生約120名を対象に出前授業を実施。ゆめタウン・ゆめマートで実施している食品ロス削減活動、食品トレイ・ペットボトルのリサイクルや分別についての授業を行い、「食品ロス削減」と「リサイクル」の大切さを学んでいただきました。今後も、産官学連携のもと啓発活動や出前授業を実施してまいります。



食品ロス削減に関する授業の様子

「エシカル和牛・くまもとあか牛」の販売

2024年11月2日～3日、LECTにて「エシカル和牛・くまもとあか牛」を販売しました。こちらは「慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科」が推進する「くまもとあか牛プロジェクト」との取り組みです。「脱炭素」へ貢献を目指し、牛由来のメタンガス排出の抑制が見込まれる飼料を給与するなど、環境に配慮し、持続可能な地域活性、畜産に向けた活動のもと、肥育された牛肉です。当社は、これからも持続可能な活動を推進してまいります。



ともに「youme」を育てるイズミグループ

イズミグループは、小売事業を中核とし、無駄のないスリムなグループ構造を維持すると同時に、その他関連事業とのシナジー効果を追求していきます。各グループ企業が、それぞれの特性を活かしつつ、積極的に事業展開することで、お客さまに新たな驚きと感動をお届けいたします。

株式会社 ゆめマート熊本 サニー事業本部

子育て世代・学生を応援する九大学研都市店OPEN

「サニー九大学研都市店」はこれから人口増加に伴う福岡市西区九大学研都市駅エリアに2025年1月30日にオープンしました。観光の名所でもある糸島エリアに近く、海・山・川など自然に満ちたエリアでもあり、子育て世代の家族が増えている場所でもあります。特に糸島野菜、唐津から水揚げされたお魚などは地元の方々にも定評があります。産声を上げたばかりのお店ですがこれからお客さまが必要とする商品、地域貢献など様々な活動を通じて地域に寄り添った形で営業していきます。



株式会社 ユアーズ

広島駅の新駅ビル「minamoa（ミナモア）」にアバンセを出店

2025年3月24日、広島新駅ビル「ミナモア」に「アバンセminamoa広島店」がオープンしました。出店したのは2階WESTの“食のエンタメ”フロア。従来の古江店や三越店の顧客層に加え、通勤通学やSC利用、観光客など様々なお客様のそれぞれのライフスタイルに応じた「食べてみたい・試してみたい」に応える売場と品ぞろえを実践。「日常+高質」をキーワードにした新型「アバンセ」にチャレンジしています。



株式会社 ゆめマート北九州

ゆめマート曽根 起工式開催

株式会社ゆめマート北九州は「ゆめマート曽根」の起工式を執り行い、2025年秋のオープンを目指して本格工事に着手しました。当店は、建物老朽化や多様化するお客様のニーズに対応するため、新しい店舗へ建て替えを行います。当店は「安全・安心・おいしさ」をスローガンに、日々、便利で快適なくらしを提供致します。安全・品質・鮮度にこだわった自社製造「zehi」の展開や地場野菜の提供など、地域の皆さまに新しい“食”の価値を提案いたします。



2025年2月期〔連結〕決算概況

■ 連結貸借対照表 （単位：百万円）		
科 目	前期末 2024.2.29	当期末 2025.2.28
（資産の部）		
流動資産	104,153	119,851
固定資産	385,356	449,760
有形固定資産	334,444	344,469
無形固定資産	10,939	65,245
投資その他の資産	39,972	40,045
資産合計	489,509	569,611 1
（負債の部）		
流動負債	116,074	126,950
固定負債	79,202	143,442
負債合計	195,276	270,392 2
（純資産の部）		
株主資本	277,594	283,180
資本金	19,613	19,613
資本剰余金	22,753	22,739
利益剰余金	235,852	241,299
自己株式	△ 625	△ 473
その他の包括利益累計額	2,960	2,342
非支配株主持分	13,678	13,696
純資産合計	294,233	299,218 3
負債純資産合計	489,509	569,611

1 総資産
5,696億円〔前期末比801億円増加〕

- ・のれんは、株式会社西友が九州地域において展開する食品スーパー事業を承継したこと等により54,879百万円増加しました。なお、当該のれんは取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額です。
- ・当期の設備投資額は14,976百万円であり、これは主に店舗新設に係る投資、既存店舗の活性化及びDX投資等によるものです。また、当該事業承継による増加等により、有形固定資産は、減価償却実施後で10,025百万円増加しました。
- ・受取手形、売掛金及び契約資産は、クレジット取扱高の増加等により7,256百万円増加しました。

2 負債
2,703億円〔前期末比751億円増加〕

- ・短期借入金及び長期借入金は、当該事業承継に係る資金調達等により61,726百万円増加しました。
- ・その他流動負債は、未払消費税の増加及び専門店からの売上預り金の増加等により6,349百万円増加しました。

3 純資産
2,992億円〔前期末比49億円増加〕

- ・利益剰余金は、内部留保の上積みにより5,446百万円増加しました。
- ・これらの結果、自己資本比率は50.1%となり、前期末の57.3%に比べて7.2ポイント低下しました。

■ 連結損益計算書 （単位：百万円）

科 目	前 期 2023.3.1～ 2024.2.29	当 期 2024.3.1～ 2025.2.28
営業収益	471,166	524,142 4
売上高	415,633	467,345
売上総利益	139,831	150,804
営業収入	55,532	56,797
営業総利益	195,363	207,602
販売費及び一般管理費	163,938	182,177
営業利益	31,425	25,425
経常利益	32,322	25,708 5
税金等調整前当期純利益	29,488	20,499
法人税等合計	8,857	7,745
当期純利益	20,630	12,753
非支配株主に帰属する当期純利益	144	834
親会社株主に帰属する当期純利益	20,485	11,919 6

■ 連結キャッシュ・フロー計算書 （単位：百万円）

科 目	前 期 2023.3.1～ 2024.2.29	当 期 2024.3.1～ 2025.2.28
営業活動によるキャッシュ・フロー	31,563	40,282
投資活動によるキャッシュ・フロー	△24,747	△91,636
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 5,149	55,073
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	1,666	3,719
現金及び現金同等物の期首残高	10,331	11,997
現金及び現金同等物の期末残高	11,997	15,717

4 営業収益 **5,241億円**〔前期比111.2%〕

- ・営業収益は前期比52,976百万円（11.2%）増加し、524,142百万円となりました。これは、主に連結子会社の株式会社ゆめマート熊本にて、株式会社西友が九州地域において展開する食品スーパー事業を承継したこと等によるものです。
- ・営 業 総 利 益 は、207,602百 万 円（前 期 比 12,238百万円増）となりました。営業収益対比では39.6%となり前期に比べて1.9ポイント低下しました。
- ・販売費及び一般管理費については、主に当該事業承継に伴う人件費及びその他販売費の増加等により、前期比18,238百万円（11.1%）増加の182,177百万円となりました。営業収益対比では34.8%となり前期に比べて横ばいでした。
- ・これらの結果、営業利益は前期比6,000百万円（19.1%）減少の25,425百万円となり、営業収益対比では4.9%と前期に比べて1.8ポイント低下しました。

5 経常利益 **257.0億円**〔前期比 79.5%〕

- ・営業外収益は、前期比79百万円（5.9%）減少の1,272百万円となりました。一方、営業外費用は、シンジケートローンの組成に伴う支払利息の増加等により、前期比533百万円（117.3%）増加の989百万円となりました。
- ・これらの結果、経常利益は前期比6,613百万円（20.5%）減少の25,708百万円となりました。営業収益対比は4.9%と前期に比べて2.0ポイント低下しました。

6 親会社株主に帰属する当期純利益
119.1億円〔前期比 58.2%〕

- ・法人税等は7,745百万円となりました（前期比1,111百万円の減少）。非支配株主に帰属する当期純利益は、連結子会社における投資有価証券売却益の計上等により834百万円となりました（前期比689百万円の増加）。
- ・これらの結果、親会社株主に帰属する当期純利益は前期比8,566百万円（41.8%）減少の11,919百万円となりました。営業収益対比は2.3%と前期に比べて2.0ポイント低下しました。

会社概要

(2025年2月28日現在)

設 立 年 月 日	1961年10月27日	店 舗 数（連結）	265店舗（GMS・SC 61店舗*、NSC 6店舗、SM 192店舗、その他 6店舗）
本 社 所 在 地	広島市東区二葉の里三丁目3番1号 TEL 082-264-3211（代）	中国エリア:92店舗	GMS・SC 35店舗* NSC 3店舗 SM 52店舗 その他 2店舗
資 本 金	19,613百万円	九州エリア:159店舗	GMS・SC 20店舗 NSC 3店舗 SM 134店舗 その他 2店舗
従 業 員 数（連結）	正 社 員 4,938名 パートタイマー 12,496名（1日8時間換算）	四国エリア:10店舗	GMS・SC 4店舗 SM 6店舗
		その他のエリア:4店舗	GMS・SC 2店舗 その他 2店舗
		※ 中国地方にLECT1店舗が含まれます。	

役員一覧

(2025年5月28日現在)

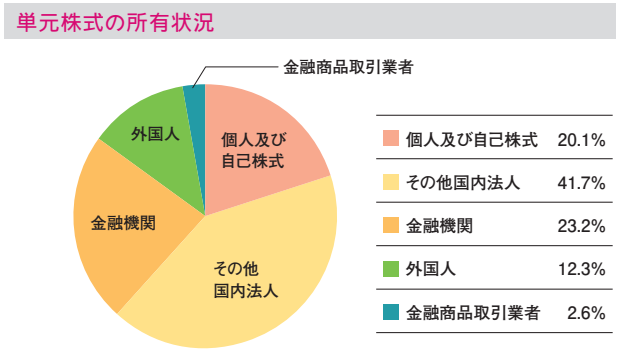
代 表 取 締 役 会 長	山 西 泰 明
代 表 取 締 役 社 長	町 田 繁 樹
取 締 役 副 社 長	山 西 大 輔
取 締 役	田 原 英 樹
取 締 役	青 木 孝 幸
社 外 取 締 役	西 川 正 洋
社 外 取 締 役	矢 野 泉
社 外 取 締 役	青 山 直 美
常 勤 監 査 役	久 永 英 明
社 外 監 査 役	堀 川 智 子
社 外 監 査 役	岡 田 弘 隆

上 席 執 行 役 員	溝 口 晋
上 席 執 行 役 員	河 崎 智 広
上 席 執 行 役 員	阿 部 睦 夫
上 席 執 行 役 員	山 野 正 道
上 席 執 行 役 員	小 林 篤 志
執 行 役 員	岡 本 圭 史
執 行 役 員	柳 井 忠 利
執 行 役 員	田 部 学
執 行 役 員	三 浦 健 司
執 行 役 員	平 公 成
執 行 役 員	大久保 康 三
執 行 役 員	宮 次 太 功
執 行 役 員	廣 瀬 伸 作
執 行 役 員	寺 本 智 広
執 行 役 員	片 山 心
執 行 役 員	梅 田 秀 樹
執 行 役 員	治郎丸 明 子
執 行 役 員	戸 町 奈 緒 子
執 行 役 員	河内山 英 雄

株式の状況

(2025年2月28日現在)

発 行 可 能 株 式 総 数	195,243,000株
発 行 済 株 式 の 総 数	71,665,200株
株 主 数	17,098名
1 単 元 の 株 式 数	100株

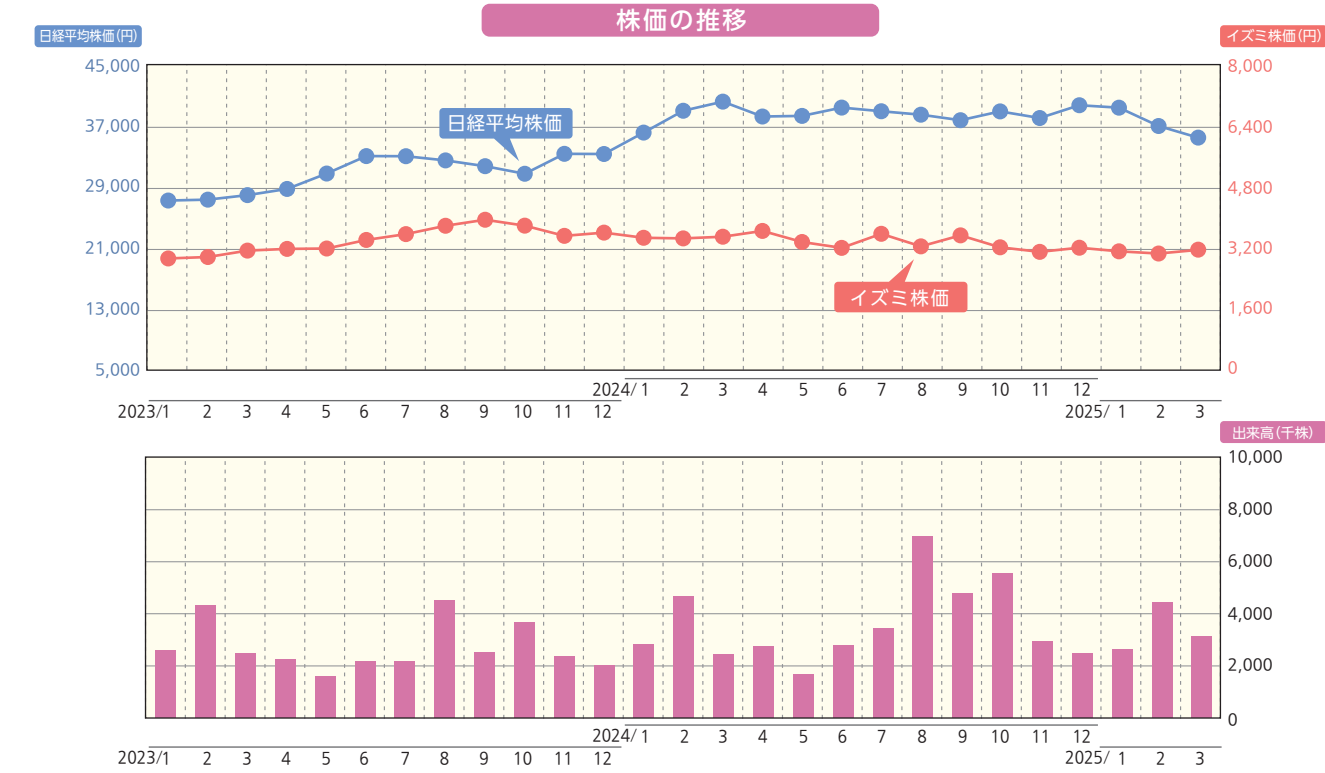


大株主の状況

(2025年2月28日現在)

株 主 名	持 株 数	持 株 比 率
山西ワールド(株)	19,935千株	27.9%
日本マスタートラスト信託銀行(株) (信託口)	5,249千株	7.3%
第一不動産(株)	4,208千株	5.9%
(株)日本カस्टディ銀行(信託口)	3,147千株	4.4%
(株)広島銀行	2,362千株	3.3%
日本生命保険(相)	2,093千株	2.9%
山西 泰明	1,971千株	2.8%
イズミ広島共栄会	1,896千株	2.7%
CEP LUX-ORBIS SICAV	1,637千株	2.3%
第一生命保険(株)	1,624千株	2.3%

(注) 持株比率は、自己株式(111,165株)を控除して計算しています。



株主メモ

事業年度	毎年3月1日から翌年2月末日まで
定時株主総会	毎年5月開催
基準日	定時株主総会 毎年2月末日 期末配当金 毎年2月末日 中間配当金 毎年8月31日
公告方法	電子公告 (やむを得ない事由のある場合 日本経済新聞)
上場金融商品取引所	東京証券取引所プライム市場
株主名簿管理人及び 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
〔郵便物送付先〕	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
〔電話照会先〕	☎ 0120-782-031
〔WEB照会先〕	https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/

■ 株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について

証券会社の口座をご利用の場合は、三井住友信託銀行では手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。
証券会社の口座のご利用がない株主様は、左記電話照会先までご連絡ください。

■ 特別口座について

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である左記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といひます。)を開設しております。
特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、左記の電話照会先をお願いいたします。

株主優待制度

株主ご優待券またはギフト券(選択制)

毎年2月末日および8月31日現在、当社株式100株以上ご所有の株主の皆様に対して、「株主ご優待券」か「ギフト券」をお選びいただき、ご所有株式数に応じて以下のとおりお贈りいたします。

ご所有株式数	株主ご優待券	ギフト券
100株以上	20枚 (2,000円相当)	500円相当
200株以上	30枚 (3,000円相当)	
300株以上	40枚 (4,000円相当)	
400株以上	50枚 (5,000円相当)	
500株以上	60枚 (6,000円相当)	
1,000株以上	100枚 (10,000円相当)	2,000円相当
2,000株以上	200枚 (20,000円相当)	
3,000株以上	300枚 (30,000円相当)	
4,000株以上	400枚 (40,000円相当)	
5,000株以上	500枚 (50,000円相当)	
6,000株以上	600枚 (60,000円相当)	
8,000株以上	800枚 (80,000円相当)	
10,000株以上	1,000枚 (100,000円相当)	

※「株主ご優待券」は、1千円以上のお買上につき、1千円ごとに各1枚(100円割引券)をご使用いただけます。

長期保有特典制度

毎年2月末日時点で、当社株式を2年以上継続して保有され、かつ毎年2月末日時点で300株以上保有の株主様に、現行の優待制度(選択制)に応じて、「自社商品券」または「ギフト券」のいずれかを年1回贈呈いたします。

ご所有株式数	自社商品券※1	ギフト券※2
	現行制度に 株主優待券を お選びの株主様	現行制度に ギフト券を お選びの株主様
300株以上	2,000円相当	500円相当
1,000株以上	4,000円相当	1,000円相当

※1「自社商品券」は、ゆめタウン、ゆめマート、ゆめシティ、LECTの各店舗、(株)ユアーズ、(株)デイリーマート、(株)サンライフ、(有)はなわの店舗等でご利用いただけます。専門店によっては一部ご利用できない店舗がございます。

※2「ギフト券」は全国でご利用いただけるものを贈呈いたします。

泉美術館ご招待券の贈呈

2025年2月28日現在で当社株式を1単元以上ご所有の株主の皆様には「泉美術館ご招待券」を贈呈させていただきます。

公益財団法人

泉美術館



■ 開館時間

午前11時から午後5時(入館は午後4時30分まで)

■ 休館日

月曜日(祝日・振替休日の場合は開館)

年末年始(12月30日～1月1日)

※展示替えによる臨時休館日

■ 住所

〒733-0833

広島市西区商工センター 2丁目3番1号 エクセル5階

TEL (082) 276-2600

■ ホームページ <https://izumi-museum.jp/>